

欠かせぬ冷静な目

崩壊の危機をチャンスに変える。「命の経済」の重要性を、アタリ氏はたびたび訴えている。生命を守る分野を支え、雇用を増やすことで経済成長を実現する。健康などの安全や食糧、研究、教育といった領域で仕事の能力や生産性を高める。発想の転換こそが人類を救うとみている。

とっぴな考えではない。活動ぶりがドキュメンタリー映画にもなった米国の経済研究家、ジェイン・ジェイコブズの「経済の本質」（香西泰・植木直子訳）によると、経済は植物や動物などの自然と共通の法則で動いている。危機に直面すると、修正を重ねて破綻を防ぎ、成長を続ける。防御システムが働くには、正確な情報が欠かせないという。

世界では新型コロナ危機と並んで、民主主義と権威主義のあつれきが高まる。米中対立や移民・難民を巡る争い、気候変動危機も重なり、危機の深刻さや何を優先すべきかがみえにくい。パニックを起さず、正確な情報をもとに動く。真実を見る冷静な目が、ますます求められる。

（編集委員 玉利伸吾）